安全上の注意事項
ELGUIDE
ベルト位置調整システム

JA

1. 取扱説明書 2
2. 正規用途 2
3. 保護装置 2
4. 中断のない電気供給 3
5. 作業者の制限 3
6. 記号の説明 3
7. 安全上の注意事項 4

SHS--251057-JA-02

1. 取扱説明書

取扱説明書は作業者がいつでも読めるような安全な場所に保管してください。

また、設置や操作、メンテナンスなどの前には必ず熟読してください。

取扱説明書の基本構成は、システムの詳細（A)、コンポーネントごとの説明（B ～ W)、予備品リスト（X)、各種図面（Z）となります。

システムの詳細（A）に沿って 操作を行い、必要に応じて各コンポーネントの説明（B ～ W）をご参照ください。

システムの構成はブロック図でご確認ください。デジタル部品の設定を E+L が行う場合には、ブロック図にアドレス設定も記載されています。

2. 正規用途

ベルト位置調整システムは、抄紙機におけるエンドレスの循環ベルト / 織物（フェルト / スクリーン等）のベルト位置調整以外の用途には使用しないでください。

ベルト位置調整システムは必ず、E+L の指定要領に従い、お客様の機械に組み込んでください。

ベルト位置調整システムは、改造しないでください。改造すると、様々な危険が発生し、保護装置では不十分となる可能性があります。

ベルト位置調整システムは、最新の技術に基づいて製造されたものです。

それでも、ご使用の際に

- 作業者の健康に危険が及んだり、
- 物的損害が生じることがあります。

ベルト位置調整システムは、

- 技術上異常のない状態、及び
- 安全と危険の意識を持って、安全に関する当地域の法規類と当業界の規定、及び事故防止関連の規定を守った上でご使用ください。

3. 保護装置

お客様側の保護装置

織物を引き込む際や生産時など、循環するベルト / 織物の端による怪我を防止するための保護装置は必ず、お客様側で設置してください。

4. 中断のない電気供給

ベルト位置調整システムに中断なく電気供給し、健康や機械の破損を防ぐため、無停電電源装置は必然です。

停電の際には調整は不可能となります。数秒以内にベルトが失われることがあります。

5. 作業者の制限

次の表に示すとおり、作業区分ごとに適切な訓練を受けた専門の担当者のみが作業を実施してください。

作業	ユーザグループ	資格
保管 / 移動、組み立て、運転開始、異常の除去 / 修理、メンテナンス、取り外し	専門作業員	金属工、工業機械工、メカトロニクスエンジニア
設置、取り外し	専門作業員	電気接続の施工は、電気専門家に限る
運転 / 操作	専門作業員	製紙工

6. 記号の説明

⚠ 危険！

この表示は、適切な安全対策が講じられない場合、作業者が死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

⚠ 警告！

この表示は、適切な安全対策が講じられない場合、作業者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠ 注意！

この表示は、適切な安全対策が講じられない場合、作業者が軽傷を負う可能性があることを示します。

注記

この表示は、適切な安全対策が講じられない場合、システムの不具合や物的損害が発生する可能性があることを示します。

▶ 必ず記載内容に従ってください。

Erhardt+Leimer GmbH
Albert-Leimer-Platz 1
86391 Stadtbergen, Germany
Phone +49(0)821/2435-0
www.erhardt-leimer.com
info@erhardt-leimer.com

7. 安全上の注意事項

⚠ 危険！

切り傷！

循環するエンドレスベルト / 織物（フェルト / スクリーンなど）の端は、切り傷の原因となるおそれがあります。

▶ 循環するエンドレスベルト / 織物の端には絶対に触れないでください。

⚠ 警告！

落下物に注意！

落ちてきた部品などでけがをする可能性があります。

▶ 吊り下げた状態にあるものの下で作業をしないでください。

▶ E+L のシステムを輸送する際は、必ず説明資料に従ってください。

▶ 組み立てが完了するまで輸送用の固定具を外さないでください。

⚠ 警告！

感電に注意！

帯電部は感電の危険性があります。

▶ 帯電部に触れないでください。

⚠ 警告！

パイプの損傷に注意！

空気圧系統のパイプの損傷によりけがをする可能性があります。

▶ パイプに損傷がないかを定期的に検査してください。

⚠ 警告！

可動部分に注意！

可動部分に挟まれる可能性があります。

▶ 手や物を可動部分と固定部分との間に入れないでください。

⚠ 警告！

引き込まれる危険！

回転部分は、引き込まれる原因となるおそれがあります。

▶ 回転部分の間や周辺には絶対に手を触れないでください。

▶ 回転部分と固定部分の間には絶対に手を入れないでください。